

木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102

TEL(FAX)046-841-6326 携帯電話:090-5303-0828 URL http://k-kinoshita.jp/



所属党派:自由民主党

所属常任委員会

・議会運営委員会

・建設常任委員会(委員長)

新年度は建設常任委員会に所属します。互選で委員長に選出されました。微力ながら円滑な委員会運営に努めます。

平成21年第1回定例会

2月20日(金)から3月25日(水)の間、第1回定例会が開催されました。主として、平成21年度予算案及び平成20年度補正予算案を審議する定例会でした。

1 代表質問

2月27日、本会議において木下けんじは、会派自民党の代表質問を行いました。質問の概要は以下のとおりです。(紙面の都合から、質問の詳細と市長答弁は割愛しました)

{蒲谷市政の総括と今後の展望について}

わが国の安全保障と横須賀の土地柄について並びに都市経営における自衛隊・米軍基地の位置づけ 行政の広域化への取り組み 新基本計画策定への意気込みについて 行財政改革の成果と今後の見通し

{21年度予算案について}

定住促進事業の今後の取り組み 本市の地産地消政策のあり方 浦賀地区再開発の取り組み 猿島公園の活用 記念艦三笠・仮称「みかさルネッサンス事業」

小中連携モデル事業の展開 本市北部地域医療態勢の充実 特定健診等の実施率向上策 危機管理態勢の充実 消費者行政の多様化について ポートパークについて 新型インフルエンザ対策の必要性 住宅用火災警報器の普及に向けた取り組み

2 平成21年度予算

3月25日の本会議において、平成21年度予算は可決成立しました。

(1) 予算全般

予算全般の概要は以下のとおりです。

従来からの厳しい財政状況、そして「百年に一度」といわれる世界的な景気後退の中にあって、努力の跡を評価できる予算案であったと思います。特に、行財政改革に努めた結果、通常債の借入額が抑制(新規発行比率72.5%)されており、後年度の財政負担軽減への取り組みが評価できます。また、現状のような不況の中にあっても、情報通信関係会社の法人市民税が12.4億円伸びており、YRPへの先行投資効果が認められます。

* 新規発行比率:各年度の元金償還額(通常債のみ)に対する新規発行通常債の比率

会計名	予算額	対前年度伸率	備考
一般会計	1321億円	0.8%	
特別会計	924億円	4.9%	国民保険、介護保険等
企業会計	561億円	13.5%	上下水道、病院等
合計	2806億円	5.0%	

(2) 歳入における自衛隊・米軍関係交付金等

交付金等の総額は、下表のとおり、約34億円です。一般会計歳入の2.6%を占めています。これらの交付金は、現状のような景気後退局面において、確実な歳入として大きな意味があると思います。

交付金種別	予算額	伸び率
国有提供施設等所在市町村助成交付金	21.7億円	2.3%
特定防衛施設周辺整備調整交付金	3.5億円	1.2%
再編交付金	8.8億円	50%
合計	34.0億円	

(3) 再編交付金充当事業

平成19年度から始まった再編交付金充当事業は、平成21年度は総額約7.5億円の予算を計上し、以下のような各種事業が計画されています。いずれの事業も「市民の安心・安全のため」及び「未来を担う子供たちのため」をキーワードとして充当されており、交付金の性格上妥当なものと認められます。

防犯カメラ設置費の助成 消防団の活動装備品の整備 ICTを活用した教育の推進 防災行政無線のデジタル化 佐原2丁目公園の整備 国際コミュニケーション能力の育成 教育用ICT機器の運用管理

木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名

連絡先



海賊対処部隊 呉出港

ソマリア沖・アデン湾海賊対処活動

海賊対処のためソマリア沖へ派遣された護衛艦部隊(さざなみ、さみだれ、隊員約400名)が活動を開始してすでに1か月以上が経過しました。(5月初旬現在)

この活動は当面のところ海上警備行動に基づく応急的な任務とされていますが、4月23日に海賊対処法案が衆院を通過したことにより、新法による活動となる目途がついたといえます。海上警備行動による活動では、保護対象船舶の制限や、武器使用基準の制限など、任務遂行に制約がありましたが、新法ではそれらが改められ、海賊対処の実効性がより確保されることとなります。

もとより海軍の任務には、伝統的に警察活動が含まれています。作戦環境や脅威度の違いにより、海軍に警察任務の遂行が求められます。つまり、海上警察による警察活動よりも、より困難な任務態様が予想されることから、海軍による警察活動が求められるのです。したがって、その任務権限に相違があることは当然であると思います。3月14日に呉を出港して以来、手足を縛られて活動せねばならない、現場隊員諸君の苦悩を思えば、新法の早期成立はそれらを多分に軽減するでしょう。しかし、派遣当初から新法を準備できなかったことは政治の怠慢であり、現場の自衛官に、一時的とはいえ、違法・脱法行為を強要したとも受け取れます。シビリアンコントロールの意味を履き違えているといわれても仕方がないと思います。



護衛艦「ひゅうが」就役

3月18日、IHIマリンユナイテッド横浜工場において、新型護衛艦「ひゅうが」の自衛艦旗授与式が行われ、「ひゅうが」は就役しました。護衛艦隊・第1護衛隊群へ配属され、同日横須賀へ初入港しました。「ひゅうが」は、基準排水量13,950トン、全長197mと海上自衛隊最大の自衛艦です。また、海上自衛隊として初めて全通甲板を持ち、ヘリコプター3~4機の同時運用が可能とのことです。大規模災害時にも十分に対応できる、多機能艦であると思います。



護衛艦「ひゅうが」



空母G・W

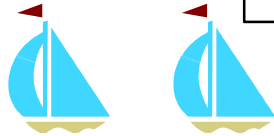
原子力空母ジョージ・ワシントン視察

1月7日(水)、自民党市議団として原子力空母ジョージ・ワシントンを視察しました。艦長HALEY大佐を表敬、懇談の後、ハンガーデッキ、指揮区画、揚錨機室、フライトデッキを見学し、丁寧な説明を受けました。定期修理期間中ということで、艦内各所で整備作業が行われていました。整備作業の間を縫っての見学となり、艦側には多大のお邪魔をしたと思っておりますが、排水量9万7千トンの巨大さをよく実感できました。艦長以下関係者の誠実な対応には、横須賀市民との交流を深化させ、相互信頼の絆をより強くしたい、との意欲を強く感じました。

ご存じですか？

住宅用火災警報器

全国では、昨年12月から相次ぐ住宅火災で、就寝中など火災に気付くのが遅れ、逃げ遅れたため死者が発生する火災が相次いでいます。本市においても1月2日に暖房器具が原因とみられる住宅火災で、84歳の男性が死亡する事故が発生しています。このような状況を踏まえ、住宅火災による死者数を減少させるべく、平成16年に消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。新築住宅は平成18年以降設置が義務付けられ、既存住宅は平成23年5月までに設置することとされています。市内電器店へ行けば、各種各金額の警報器が準備されています。また、取り付けも個人で簡単にできます。既存住宅の設置義務の経過措置は、残り約2年です。本市における住宅用火災警報器の設置率が早く100%となり、火災による死者ゼロとなることを願っています。



ホームページを開設しました。
御来訪をお待ちしています。
URL <http://k-kinoshita.jp/>

木下けんじの経歴

昭和25年生まれ
夏島小、追浜中、県立横須賀高校卒業
昭和48年防衛大卒業
以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等
平成18年海上自衛隊定年退官
現在
横須賀海洋少年団 顧問
横須賀水交会 理事
隊友会横須賀支部 相談役

連絡先

木下けんじ 事務所

〒239-0822横須賀市浦賀5-8-5 TEL (FAX) : 046-841-6326
URL <http://k-kinoshita.jp/> 携帯電話:090-5303-0828